

常磐毎日

発行所 平市田町75
常磐毎日新聞社
電話部 1210 部 1269

息いの……
股堂……
(女中入用)
旅館
翠月
平市新田町 電332

宮小校の18教室を全焼 更に隣接の民家五棟も

十八日午後八時四十分ごろ宮内市宮内小学校(校長佐藤謙三、生徒四百四十名)の北側校舎から出火、火は折からの約十米の西風にあおられてたちまち燃え広がりました。一時にして校舎は火の海となり、地元の消防団員が駆けつけ、約七名の消防団員、地元民が消防に当たりましたが、火の廻りが早いため六教室を焼いて、水通せんぼ瓦葺二階建一棟、二九四坪四角、スレート平家建二百三十三坪、木造瓦葺平家建二百七十五坪合計七百九十九坪二合四角(総坪数九百七十三坪七合四角)十八教室を全焼して火は更に飛火、約百メートル離れた佐藤謙三の自宅(四階建て八五・三坪、建築費七万七千五百円)を半焼して午後十一時ごろに消火した。損害は約二千万に達する。

強風下一瞬火の海

損害二千万圓に達す

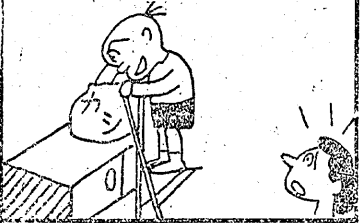
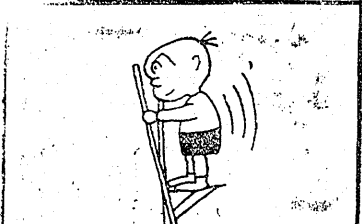
原因については内閣府で調査して居るが、全焼の火の海となり、火の廻りが早いことも原因の一つと見られる。出火場所は中校舎の一年口組の火が出たのではないかとみられて居る。同校舎は全焼の火の海となり、火の廻りが早いことも原因の一つと見られる。同校舎は全焼の火の海となり、火の廻りが早いことも原因の一つと見られる。

半年以内に再建 臨時市會で対策協議

この火災に際して同市教育委員会と市議会文教委員会では十四日午後八時から市役所会議室で臨時市議会を招き、校舎の早期再建を図るとともに焼け出された児童の収容について協議した結果、一、二、三年生は焼けた六教室、三年生は臨時市會で対策協議

被災者氏名

市当局では被災者全焼四世帯に各五千円、半焼二世帯に各二千五百円を員金として贈った。被災者



一部ダイヤ改正 常磐線20日から実施

本鉄管理局では昨年十一月の列車時刻改正後における列車運転で一部遅延を生ずる列車があること、列車通過の正常化を図るため来年二月十日から常磐線上下の各列車のダイヤ改正を次の通り切替えることになったが、平駅関係は次の通り。(カッコ内は臨時)

(上り)		平発時刻	
列車番号	620	6,17	
気	628	18,15 (17,57)	
222	8,18 (8,12)		
230	16,55 (16,47)		
442	17,35		
622	10,10 (10,08)		
232	19,45 (19,33)		
234	22,17 (22,00)		
(下り)		平発時刻	
列車番号	621	7,12 (7,07)	
気	425	9,21止	
627	19,19 (19,17)		
625	17,06 (17,03)		
629	22,10 (21,58)		

川和徳一氏厳父

本社常務取締役、加地和徳社長川和徳一氏厳父川和徳氏は十日午前八時茨城県那珂郡那珂村小田野の自宅で老衰のため逝去した。享年七十三才。

四倉民生委協議会日程

四倉町民生委員協議会は十四日午前九時から町役場附設で開き、社会事業部の提案結果報告と同氏への入所見解決定について、同協議会所管委員八名(定員七十五名)の意見を協議決定する外、世帯正運動について協議するが、大野、大浦地区同委員会との日程は次の通り。

水没の危機迫る 再び無期スト突入

茨城県上野宮村は生活困窮を要請して古河労働組合が無期スト突入し、また常磐線もスト突入して行っている。茨城県労働組合は十五日夕方から全山無期スト突入し、さらに茨城県労働組合の常磐線は十八日、常磐線は二十一日からそれぞれ全山一斉に無期スト突入する。茨城県労働組合はスト突入する。茨城県労働組合はスト突入する。

女中さん至急入用

湖月
お座敷……
平市田町三三・一〇七三

近火御見舞御禮

十三日午後八時三十分頃市立宮小学校の火災発生に際しては各方面よりいち早く消防応援を頂き御陰を以て強風下にも拘わらず鎮火することの出来得ましたことは各位の御協力賜りして衷心より感謝申し上げます。茲に略儀ながら紙上を以て御禮申し上げます。
昭和三十三年三月十四日
内郷市長 沼田 一夫
同議会議員 菅本 三義

近火御見舞御禮

瀬谷 文具店
内郷市宮町宮小学校前

近火御見舞御禮

水口 薬局
内郷市宮町 電話二七七六

近火御見舞御禮

十三日午後八時三十分頃市立宮小学校の火災の際には早速御座つて下さる御力賜り且つ御見舞を辱し誠に有難うございました。混雑中に取りまされ御座る名御伺い洩れもある事と存じ略儀ながら紙上を以て御禮申し上げます。
昭和三十三年三月十四日
常磐炭礦株式会社
磐城炭礦所
所長 越智 英 勇

笛の詩

21

海鳥の章

えと文 谷田部風太郎

わの肌の上がかかっている風景
 面は、管が描いたものである
 小舟の波を揺らしたる小舟
 いのちから、昔、アイヌの防
 禦のたてまき、低く、くまなく
 オロツク岩を中心に、右と左の
 二つの海と、眼下に散らばった
 人家を平凡に描き写していた。
 散らばった人家の中程に、へ
 りとて、たかたか、管が自立して
 いた。浜辺には人と舟が点々
 として、管の海を流る。



たの風の出が、暖かい流れに
 なって、吹出して来た。
 そと、その風の中は、管の
 音も、管の音も、管の音も
 土万間の様なオロツク岩の周囲
 へ、あつた。

信夫を吊り出す

時津 借しい板との一番

大相撲春場所四日目、小結信夫山
 と顔を合せた郷土力士時津山は、見
 事本取り身で信夫を敗り三勝目を
 記録した。巧みな信夫の立合いに
 時津一瞬あやうく見えたが、よく残
 踏、快活な小結信夫に小結土
 のスキを与えないほど、時津山は
 身をつた、この分だと今場所は大
 いに活躍しそうだ、それが、それだ
 けに三目目の対戦は惜しみて、
 も余りある一番、板のまわしがゆ
 るん、いなかつたら勝負は完全な
 時津のものになつて、時津にと
 しては不運の「ぬるま湯」であつ
 た。

米作と馬鈴薯の

新年度増産計画成る

石城地方三十二年産米と馬鈴薯の完全増産の線が打ち出され
 産の生産計画案が、このほど完成して、馬鈴薯は各関係機関と協
 同案による米は十九万九千九百九十九石、馬鈴薯は二万四千九百
 六十石の増産を目標として、目標を打ち出している。

保管料の据置き

みりん干加工組で要望

小名浜みりん干加工協同組合
 からは、原料の保管料を一貫目について
 四月十五日から五十一日五十五日に引
 上げるとの要望が、四月から五
 月にかけて、米市況が好転する四月下旬
 までの一カ月間を保管料金の値
 上げをせず、そのまま据置きに
 してほしいというもので、臨時総
 会での申合せ事項は文書で各冷
 凍業者に送ることにされた。

最新・最高の質品

LPレコードとHiFi装置

TEL 972

古山電気

平 市 2丁目

常磐の温泉

対策委開く

常磐地区温泉対策協議会は十
 四日午前十時から市役所会議室で
 ひろき温泉と冷泉の温泉契約の協
 定について協議する。

あるが

- 子供の日
- 次期物産展
- スポーツ盛り
- 川柳コンテ
- 録音ニュース
- 即興劇
- 民謡をとりぞ
- 花のつばき
- 二二二スズ
- 歌謡の泉
- 時の動き
- ラジオ編
- トニーの童話
- 赤旗の助
- 永遠に答へ
- 音楽の小箱
- 録音ニュース
- 歌のトランプ
- 民謡うたの旅
- サラバの浪曲
- 平凡なアワー
- 花は咲かす
- 名作アルバム
- 夜の楽
- 夜の唄
- 時評解説

御進物に!

伊勢松坂牛

伊勢松坂牛 特選反 三五〇円
 伊勢松坂牛 特上 三〇〇円
 伊勢松坂牛 上 二六〇円

平市銀座通り 電話二七一

今晩の映画

東映劇場 十九日マテ
 鮮血の罠

世界館 十九日マテ
 女闘争島嶼道中

大友 十九日マテ
 謎の探偵

八三 十九日マテ
 喉痛重なる

民 十九日マテ
 この二人に幸あれ

八四 十九日マテ
 山と川のあゆみ

ひかり座 十九日マテ
 赤い風船

八五 十九日マテ
 正統派

八六 十九日マテ
 炎の氷河

石炭 コークス

火力の強い
 火持の長い
 カスの少い

徳用石炭

電話三七番・二三七番へ
 一俵よりお届けいたします

平市昭 常磐炭礦販売会社

マイナル粉石炭

代理店
 袋屋本店
 電話五一六

位牌佛具

御用命の節は是非とも

造花 山光堂
 仏具 専門店

平市四丁目本館前 五五〇
 平市研公園下 電話二〇三四

自動車 工員募集

採用人員 数名

経験年数 自動車修理五年以上

▽経年市内又は附近居住者で自動車通勤可能の方

御希望の方は履歴書に写真を添へて本月二十五日迄に当所に御出下さい。面接はその後に御知らせいたします。

平市材木町 電話二二〇〇

福島トヨタ自動車 平営業所

貨切の御用命は

電話 640番

尼子タクシー

山崎時計店

計鏡筆輪オ
 時眼万指ラ

御礼の心をこめた贈物

平市五丁目 電話九九一

★時計の検査には
 ★電氣タイム
 ★グラフア一使用
 平指定商加盟店

眞根井商店

平市銀座 電話二〇二五

ダイヤモンド毛糸

640円

染色金色揃いました
 半ボンド800円

ハシモトヤ糸店
 平市銀座 電話一六